



田邊一成 院長

九州大学卒・歯学博士／歯科麻酔学会認定医／「研究論文刷り」のご請求はたなべ保存歯科までどうぞ。



日本口臭学会をはじめ、発表した研究論文の一部



たなべ保存歯科  
Preservative Dentistry

# 虫歯菌・歯周病菌への新たなアプローチ ヒト由来の安全な乳酸菌が悪玉菌を駆逐

**虫歯菌と歯周病菌が歯を悪くする  
口腔内環境改善が再発を予防**

虫歯や歯周病に対し、新たなアプローチから予防に取り組んでいる歯科医がいる。たなべ保存歯科(福岡市)の田邊院長(歯学博士)だ。

「できるだけ抜かず削らず、自分の歯を保存する」方針が評判を呼び、現在予約は半年先まで一杯になっているという。「義歯やインプラントも自分の歯にはかなわない。それから最初から自分の歯を守ることに全力を尽くしたほうがいい」というのが、田邊院長の治療哲学だ。

確かに「歯を磨いても、治療が終わっても、また悪くなった」という

人は多い。そこで「口の中に虫歯菌と

歯周病菌がいる限り、虫歯や歯周病は再発してしまう。この口腔内細菌を研究しなければ」と、歯周病菌や口臭に

関しては福岡歯科大学口臭クリニックの廣藤教授のグループや九州大学と、虫歯菌に関しては北海道医療大学の安田准教授(当時、現在福岡市・やすだ歯科院長)との共同研究が始まった。その過程で出会ったのが「善玉乳酸菌WB21(ラクトバジルスバリリウスWB21菌株)」だ。

**歯科医と大学の共同研究の成果  
乳酸菌WB21を世界に情報発信**

乳酸菌は味噌やヨーグルト、胃腸薬にも含まれているが、ヒトの健康

## たなべ保存歯科

に有益な効果をもたらす微生物(プロバイオティクス)である。そのなかでも乳酸菌WB21は抗ヒロリ菌効果を持つ菌として、健康なヒトから見つかり、たなべ保存歯科と大学の共同研究では、虫歯菌や歯周病菌カンジダ菌などの増殖を抑えることが認められた。

生きた乳酸菌が口腔内だけでなく胃や腸まで届くことを可能にするため、「タブレットにWB21菌を配合する方法」をとり、このタブレットを1日3回摂取することで口腔内の虫歯菌数減少、歯肉出血の改善、口臭の改善などに効果があることがわかってきた。これらの一連の研究成果は、国際口臭学会や日本歯周病学会、国際学術論文としても発表されている。現在製薬会社との共同研究で、高齢者や乳幼児のための液状タイプも研究中であるという。

### 食を守る無農薬農法に学ぶ

### 悪玉菌の除去に殺菌剤は不要

一般の口臭予防製品は、殺菌剤を



国際口臭学会・ブラジル (2011年)



国際口臭学会・ドイツ (2009年)

配合したものがほとんどだが、これでは口の中の善玉菌まで殺菌してしまう。そこで田邊院長は、無農薬農法の益虫の働きが「食の安全」を生み出すように、口臭の原因となる悪玉菌を、ヒト由来の安全な善玉菌の力で駆逐することを考えたという。「善玉乳酸菌WB21」の摂取で、口臭を防ぎ、口腔内環境が整えられ、さらに体全体の健康も維持できるというのだから、一度試してみる価値はあるだろう。興味のある人はたなべ保存歯科、または福岡歯科大学日用品売店まで問い合わせを。

## たなべ保存歯科

院長 ● 田邊一成  
住所 ● 福岡県福岡市東区水谷 2-12-18  
電話 ● 092-663-9101  
診療内容 ● 一般歯科・予防歯科  
診療時間 ● 完全予約制

(予約は半年先まで一杯です。余裕を見てのご予約をお願いします)

休診日 ● 日・月・祝祭日・お盆・年末年始

※インプラント治療は行っておりません。たなべ保存歯科は自分の歯を残すことを第一に考えております。すでにインプラントの方は主治医の定期検診を受けることをお勧めします。

<http://tanabe-hozonshika.jp>